

株主  
通信

第53期

53

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

## CONTENTS

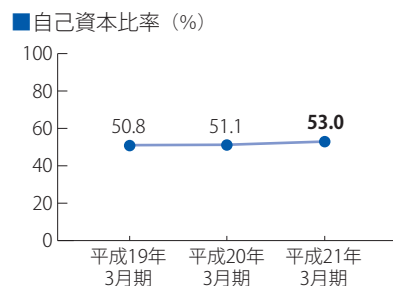
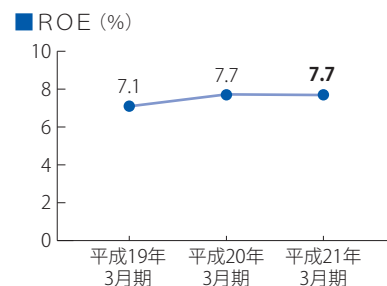
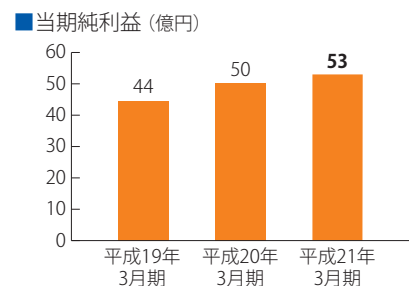
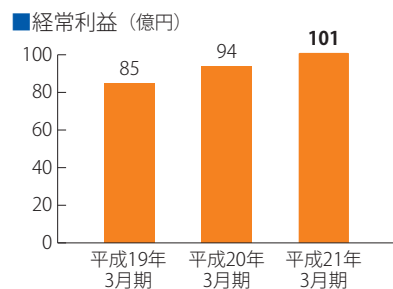
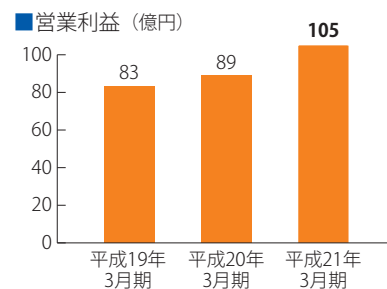
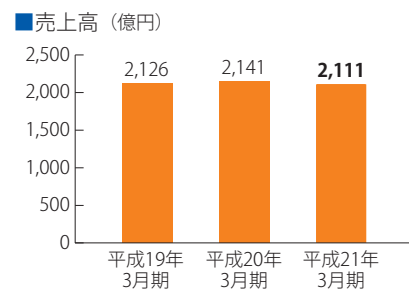
- 01 財務ハイライト
- 02 トップメッセージ  
保守および注力事業の拡大と、費用構造改革の更なる推進を図り  
“着実に成長する企業”を目指します
- 05 NECフィールドディングのサポートサービスとは…
- 07 私たちのCSR
- 09 トピックス
- 10 業績の概況
- 11 連結財務諸表
- 13 「第53期株主通信(第2四半期累計期間)」に対するアンケート結果のご報告
- 14 会社概要／株式の状況

2009年3月期のポイント

「厳しい事業環境においても増益を達成」

- 保守既存領域と注力領域は着実に増収したものの、景気悪化の影響を受けたシステム展開・サプライの既存領域の縮小により減収(▲30億円)
- 保守・運用領域での増収と、継続して取り組んでいる費用構造改革の成果による利益率の改善で増益(営業利益:+16億円、経常利益:+7億円、当期純利益:+3億円)

(数値は前期比)



保守および注力事業の拡大と、費用構造改革の更なる推進を図り“着実に成長する企業”を目指します。

代表取締役 執行役員社長

中西 清司



株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平成21年6月25日をもちまして、片山徹に代わり、代表取締役執行役員社長に就任いたしました中西清司でございます。企業価値を高めるとともに、引き続き株主の皆さまへの継続した利益還元を図るべく、経営に邁進する所存でございます。

Q1 第53期(2009年3月期)の状況について、解説をお願いします。

A1 2008年9月の米国大手証券会社リーマン・ブラザーズの破たんに端を発した金融危機が世界規模に拡大し、实体经济にまでその影響が波及したため、景気回復の兆しが見えない厳しい状況となりました。当社グループの主な事業領域であるITサポートサービス市場は、情報漏えい対策・金融商品取引法(日本版SOX法)に対応するセキュリティ・コンプライアンス、災害・テロなど不測の事態に応じたIT事業継続計画、業務効率化やシステムの運用コスト低減を目的とするアウトソーシングなどの分野で成長をけん引してきました。しかしながら、顧客ニーズの多様化と企業間競争による価格低下が継続したことに加え、景気後退の影響

により、当社グループを取り巻く事業環境は一層厳しさを増しました。このような環境の中、当社グループは、CS(お客さま満足度)とCSR(企業の社会的責任)への取り組みを経営の基本方針として、プロアクティブ・メンテナンス事業とフィールドینگ・ソリューション事業の2つの事業領域において積極的な取り組みを実践し、事業の着実な成長に向けた活動を展開してまいりました。その結果、当期の売上高は前期比1.4%減の2,110億86百万円となりました。これは、保守・修理サービスなどの保守既存領域と、注力領域である運用サポートや協業・ソフトサポートなど安定した需要がある領域での増収はあったものの、景気後退の影響により、システム展開サービスやサプライサービスが減収したことによるものです。

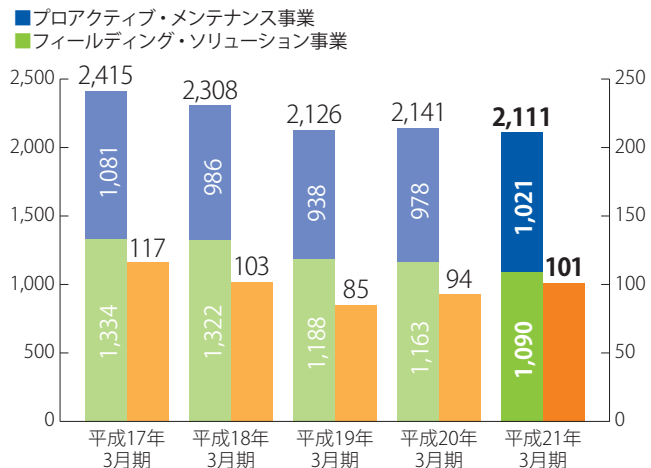
**Q2** 利益の状況はいかがでしたか？

**A2** 経常利益は、付加価値の高いプロアクティブ・メンテナンス事業での増収や原価低減活動の効果などが寄与した結果、前期比7.8%増の100億83百万円となりました。

当期純利益については、光メディア生産業務の終結に伴う設備の廃棄、たな卸資産の評価基準の見直しによる評価損などを特別損失に計上したものの、経常利益が増加したため、前期比4.6%増の52億75百万円となりました。

このように2009年3月期は、厳しい事業環境の中で増収こそ達成できませんでしたが、利益については着実に増益を達成いたしました。

■売上高／左軸(億円) ■経常利益／右軸(億円)



**Q3** 2010年3月期の見通しについて、どのように予測されていますか？

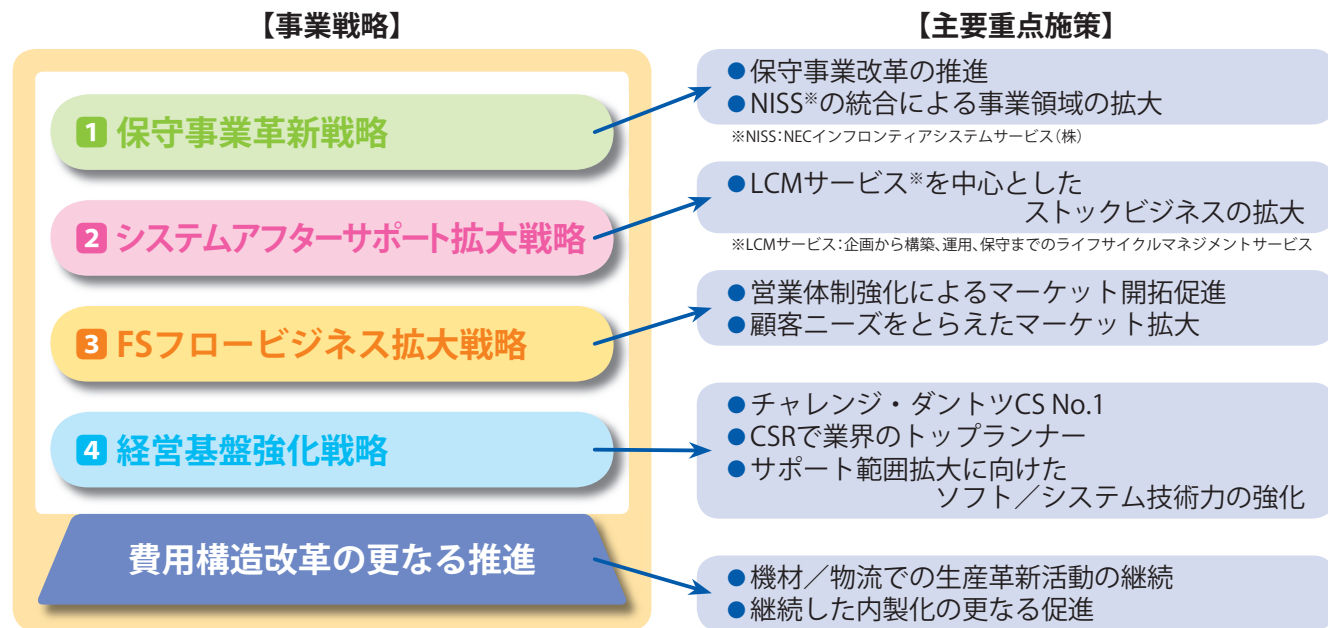
**A3** 日本経済は、2009年度後半には、景気回復に向けた経済対策の効果が一部現れるものの、依然として厳しい環境が継続すると予測されております。当社グループが主要事業領域とするITサポートサービス市場は、ITシステムのオープン化に伴う各種ベンダ機器の保守機会拡大やアウトソーシング需要に対応する運用サポートサービス、IT/ネットワーク統合領域の成長が見込まれる半面、さらなる企業間競争によるサービス価格下落なども進展するため、市場環境は今後一段と厳しくなることが予想されます。

こうした中、当社グループでは①保守事業革新戦略 ②システムアフターサポート拡大戦略 ③フィールドディング・ソリューション フロービジネス拡大戦略 ④経営基盤強化戦略—の4つの戦略を推進します。

さらに、保守部品の物流ネットワーク整備などの生産革新活動の継続や内製化促進、NECインフロンティアシステムサービス株式会社の吸収合併による業務の効率化などで“費用構造改革の更なる推進”を図り、利益を創出してまいります。

このような展開を踏まえ、2010年3月期の業績見通しは、売上高が前期比5.3%減の2,000億円、営業利益が同4.6%減の100億円、経常利益は同0.8%減の100億円、当期純利益は同2.4%増の54億円を見込んでおります。

事業戦略と主要重点施策



**Q4** 最後に、株主の皆さまへメッセージをお願いします。

**A4** 当社グループは、CSの向上による事業の安定成長とCSRへの取り組みによる企業責務の遂行を経営方針としています。なかでも、CSの向上については、主要重点施策として「チャレンジ・ダントツCS No.1」を掲げ、顧客満足度調査でのNo.1奪還に向けた活動に注力しています。

また、2008年6月、当社が目指す中長期的な目標として「フィールドディング ビジョン・バリュー」を策定し、企業価値向上に向けた取り組みを強化いたしました。今後も“着実に成長する企業”を目指し事業を展開してまいります。株主の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

お客さまが安心して業務を行えるように、ITシステムのライフサイクル全般にわたってサポートしています。



NECフィールドディングは

お客さまITシステムの安定稼働を実現する「プロアクティブ・メンテナンス事業」とお客さまITシステムの快適・最適運用を支える「フィールドディング・ソリューション事業」という二つの事業を柱に、お客さまにさまざまなサポートサービスをご提供しています。

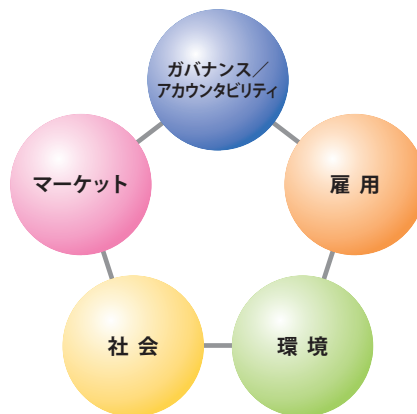
プロアクティブ・メンテナンス事業

- ◆ 保守サービス
  - 定期点検、予防保守
  - トラブルの復旧、故障修理

フィールドディング・ソリューション事業

- ◆ システム展開サービス
  - 最適なコンピュータ、ネットワーク、設備の導入
- ◆ サプライサービス
  - 快適運用に必要な用品の提供
- ◆ 運用サポートサービス
  - お客さまに代わってシステムを安全に運用

当社は「安定的成長を支えるCS経営」と並び「持続可能な社会への貢献を実現するCSR方針」を経営の両輪として位置づけ、企業理念「私たちはフィールディング活動をとってお客さまの活躍と発展にお応えし、安心と喜びをともにする豊かな社会の実現に貢献します」の実現に向けた事業活動を日々展開してまいります。



**【CSRマネジメントフレーム】**  
当社はCSR活動を5つの分野に分類し活動指標を明確にすることで、着実なCSR活動を展開しております。

### 国連グローバル・コンパクトを支持しています

「グローバル・コンパクト」は、グローバリゼーションに起因する課題に対処するため、1999年1月にアナン国連事務総長(当時)が提唱したもので、参加企業は、人権、労働基準、環境、腐敗防止の4分野10項目(右表参照)の普遍的な原則を支持、実践することが求められています。

2004年6月、当社は国内企業では15社目に支持を表明し、現在では世界6,000社以上、国内88社の企業が参加しています(2009年5月19日時点)。当社は「グローバル・コンパクト」とその原則に従業員へ徹底するとともに、原則に基づく積極的な活動を展開してまいります。



#### ■ 国連グローバル・コンパクトの10原則

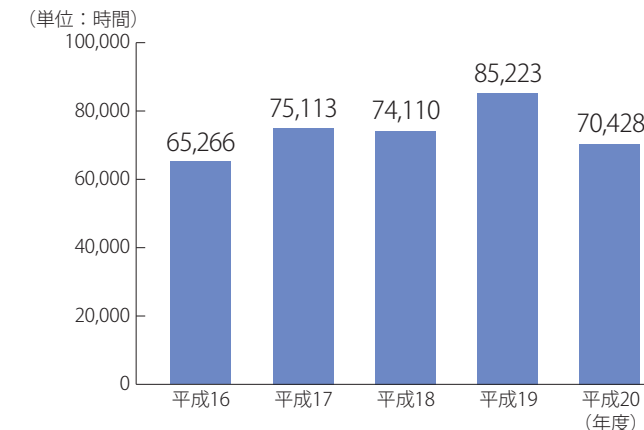
人 権	1. 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重する。
	2. 自らが人権侵害に加担しないよう確保する。
労働基準	3. 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持する。
	4. あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持する。
	5. 児童労働の実効的な廃止を支持する。
	6. 雇用と職業における差別の撤廃を支持する。
環 境	7. 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持する。
	8. 環境に関するより大きな責任を率先して引き受ける。
	9. 環境に優しい技術の開発と普及を奨励する。
腐敗防止	10. 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組む。

### 2009年3月期に当社が行った主なCSR活動をご報告します。

#### 社員1人当たり年間8Hのボランティア活動

当社では、社員1人当たり年間8Hのボランティア活動を行うことを目標とし、地域社会に溶け込んで行う「個人ボランティア活動」の促進を図っています。平成20年度は全社70,428H、1人当たり約11Hの活動実績となり、目標を大幅に達成することができました。豊かな社会の実現に向け社員一人ひとりが行動につなげていけるよう、引き続きボランティア活動への参加を促進してまいります。

■ 社会貢献活動時間実績推移



#### 地域社会貢献活動の一例

##### あきる野市での森林整備活動について

当社は、東京都港区があきる野市で運営する「みなと区民の森」において、その一画を当社の占有エリアとして活動する許可をいただき、2008年10月より森林整備のボランティア活動を行っています。植林したまま放置されてきた人工林にて、間伐や枝打ち、下刈り等の作業を行って健全な森に戻し、CO<sub>2</sub>の削減や生物多様性の確保に貢献しようという活動です。活動立ち上げから原則月1回の活動を継続的に実施し、これまで従業員やその家族が6回(2009年5月時点)の活動を行い、今後も活動の場を拡大しながら継続していく計画です。



枝打ち作業



間伐作業



作業終了後の集合写真

## 2009年3月期、私たちはこのような活動を行ってきました。

## CSR (企業の社会的責任)

- 日興アイ・アール株式会社の「全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」にて最優秀サイトに3年連続選定

この調査は、日興アイ・アール株式会社が2008年6月中旬～9月末の間に全上場企業3,920社のホームページを「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の3視点で調査し、ランキング付けしたものです。今後もホームページによる迅速かつ正確で積極的な情報開示を行ってまいります。



10月

11月

12月

1月

2月

3月

## 成長

- 最新国際標準Ver.4.1に基づくHDIサポートセンター国際認定をアジア・パシフィック地域で初取得

当社ヘルプデスクソリューションセンターが2004年3月に取得した「HDIサポートセンター国際認定」の更新認定において、最新の国際標準Ver.4.1による更新認定をアジア・パシフィック地域で初めて

取得いたしました。この認定はヘルプデスクサービスの品質向上と業務効率の向上を目的とした制度であり、当社の品質改善活動や顧客満足度向上活動の成果が評価されたものです。今後も、さらなるお客さま満足度の向上を追求してまいります。

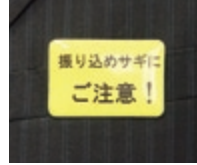


認定証

## CSR (企業の社会的責任)

- 「振り込み詐欺防止活動」への取り組み～防犯活動への支援を通じ、地域社会へ貢献～

金融機関向けにATM（現金自動預払機）保守を手掛ける保守サービス各社（当社を含む8社）共同で、「振り込み詐欺防止活動」を開始しました。これは、保守員がATMの保守作業をする際に、金融機関等の利用客に振り込み詐欺被害への注意を喚起する活動です。



保守員が着用するバッジ

## 成長

- 「音声／データ統合パック」を商品化

小規模オフィスでのIP電話システムの導入を容易にするサービス「音声／データ統合パック」を商品化しました。

このサービスは、必要な機器と設置工事および初年度の保守サービスを一括提供し、さらに通信事業者が提供するブロードバンドネットワークサービスやIP電話サービスと組み合わせることで、導入コストと通信コストの低減を実現するものです。

## 経営

- 当社子会社2社の社名(商号)変更

ブランド強化の一環として、フィールドイングシステムテクノロジー(株)はNECフィールドイングシステムテクノロジー(株)へ、フィールドイングサポートクルー(株)はNECフィールドイングサポートクルー(株)へ、社名(商号)変更いたしました。NECグループ一体となってお客さまに最適なサービスをご提供してまいります。

## セグメントサービス別売上高構成(平成21年3月期)



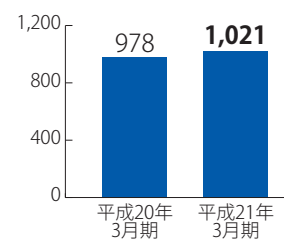
## プロアクティブ・メンテナンス事業

- 当社が基盤事業として位置づけている保守サービスです。
- 売上高は、自主契約促進活動の成果や販売店との連携強化による既存領域での着実な伸長に加え、ITベンダ各社との協業やソフトサポートなどの注力領域で前期比10.0%増の二桁伸長したことにより、1,020億50百万円(前期比4.4%増)となりました。
- 営業利益は、付加価値の高い注力領域と既存領域での増収による増益に加え、地域および機種単位で修理拠点を集約するなど、作業効率の改善を目的とした保守フォーメーション改革や、生産革新活動を中心とした保守部材費および機材関連費用の低減活動などにより利益率が改善し、152億69百万円(前期比26.1%増)となりました。

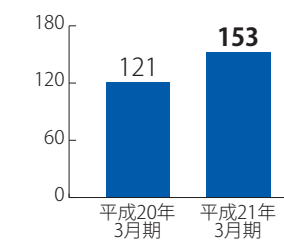
## フィールドイング・ソリューション事業

- ITシステムの快適運用の実現に向け、お客さまのさまざまなニーズを解決するソリューション事業です。
- 売上高は、統合運用サポートセンターの活用による運用サポートサービスやヘルプデスクサービスに加え、セキュリティ/VoIP領域およびインターネットショップ「い〜るでいんぐ」などの注力領域で前期比17.1%増の二桁伸長を実現しました。しかし、システム展開サービスやサブライサービスでの景気後退の影響による減収などにより、1,090億35百万円(前期比6.3%減)となりました。
- 営業利益は、減収による減益と、「い〜るでいんぐ」のシステム機能強化やLCMサービス拡大に向けた要員育成など、成長に向けた先行投資を実施したことにより利益率が悪化し、41億65百万円(前期比24.3%減)となりました。

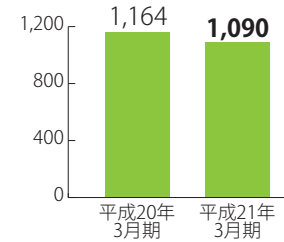
## ■売上高 (億円)



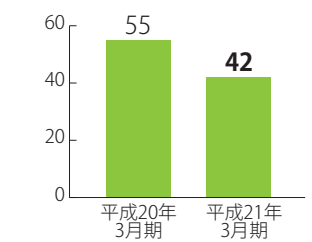
## ■営業利益 (億円)



## ■売上高 (億円)



## ■営業利益 (億円)



## 用語集

## ブロードバンドネットワークサービス

高速なデータ通信を可能とするネットワークと、その上で提供される各種サービス。(ADSL、光ファイバーネットワークなど)

## 用語集

## VoIP

インターネットなどで使用される通信手段を用いて、音声データを送受信する技術。

## LCMサービス

ITシステムにおける企画から構築、運用、保守までのライフサイクルをマネジメントするサービス。

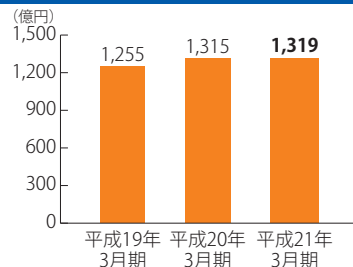
連結貸借対照表(要旨)

資産合計

**1,319**億円

▲ 前期比4億円増

現金及び現金同等物、無形固定資産の増加等により総資産は前期比4億円増の1,319億円となりました。

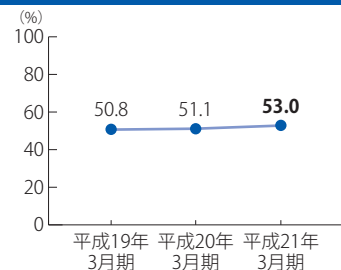


自己資本比率

**53.0**%

▲ 前期比1.9ポイント上昇

利益剰余金が前期比28億円増となったこと等により自己資本比率は1.9ポイント上昇の53.0%となりました。

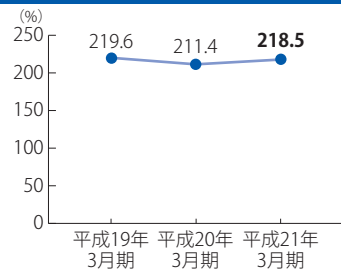


流動比率

**218.5**%

▲ 前期比7.1ポイント上昇

前期比で7.1ポイント上昇の218.5%となり、安全性を示す一つの目安である200%を維持しております。



平成22年3月期連結業績予測

売上高 **2,000**億円

営業利益 **100**億円      当期純利益 **54**億円      ROE **7.6**%

資産の部

(単位：百万円)

科目	当期末 (平成21年3月31日現在)	前期末 (平成20年3月31日現在)
流動資産	99,960	101,963
固定資産	31,952	29,533
有形固定資産	4,463	4,119
無形固定資産	7,421	6,026
投資その他の資産	20,067	19,388
資産合計	131,912	131,497

負債の部

(単位：百万円)

科目	当期末 (平成21年3月31日現在)	前期末 (平成20年3月31日現在)
流動負債	45,748	48,234
固定負債	16,244	15,958
負債合計	61,993	64,192

純資産の部

株主資本	70,006	67,185
資本金	9,670	9,670
資本剰余金	10,161	10,161
利益剰余金	50,176	47,355
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	△108	△48
その他有価証券評価差額金	△91	△62
為替換算調整勘定	△17	13
少数株主持分	21	167
純資産合計	69,919	67,304
負債純資産合計	131,912	131,497

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	前期 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
売上高	211,086	214,119
売上原価	175,260	179,319
売上総利益	35,826	34,799
販売費及び一般管理費	25,343	25,931
営業利益	10,483	8,868
営業外収益	636	582
営業外費用	1,036	93
経常利益	10,083	9,357
特別損失	481	74
税金等調整前当期純利益	9,602	9,282
法人税等	4,272	4,172
少数株主利益	55	64
当期純利益	5,275	5,045

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

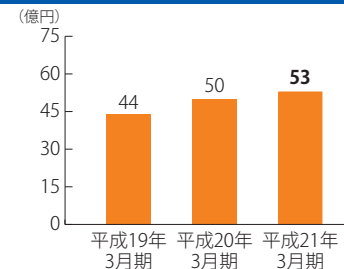
科目	当期 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	前期 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,984	7,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,823	△3,828
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,622	△1,882
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	4
現金及び現金同等物の増減額	3,504	2,087
現金及び現金同等物の期首残高	19,815	17,728
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	26	—
現金及び現金同等物の期末残高	23,346	19,815

当期純利益

**53**億円

▲ 前期比3億円増

メディア生産業務の終結に伴う設備の廃棄と、たな卸資産の評価損により特別損失を4億81百万円計上したものの、経常利益が増加したことにより増益となりました。

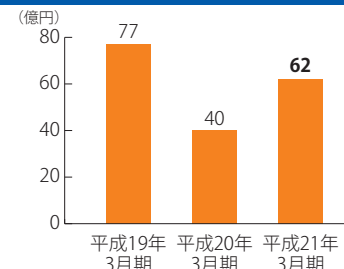


フリー・キャッシュ・フロー

**62**億円

▲ 前期比22億円増

売上債権の回収増や、たな卸資産の圧縮等による資金増で前期比22億円増となりました。

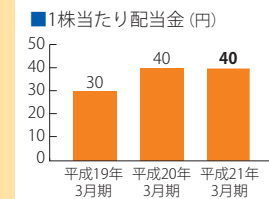


利益還元について

平成21年3月期の年間配当金につきましては40円を実施いたしました。

1株当たり配当金

**40**円

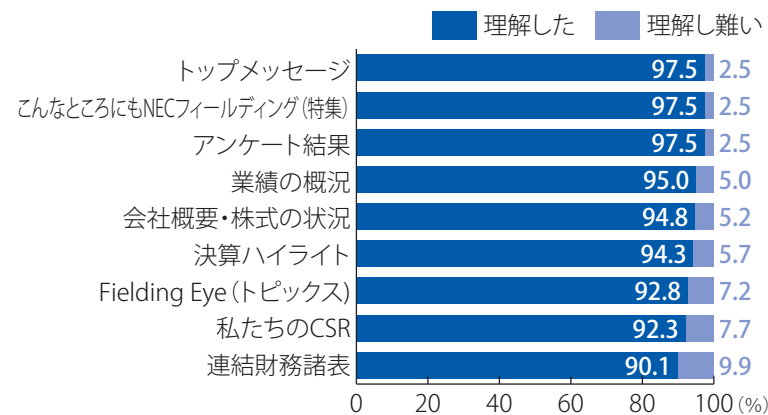


詳細は当社ホームページでご確認ください

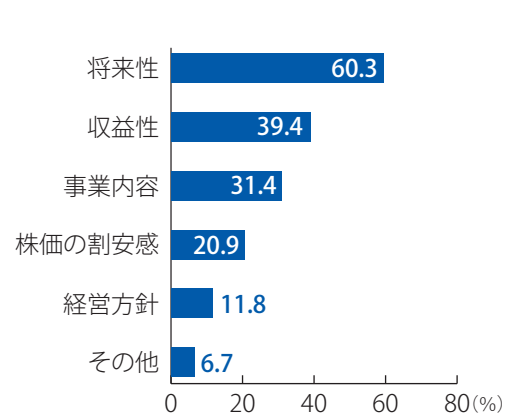
NECフィールドディング IR

検索

**Q 第53期株主通信(第2四半期累計期間)の内容はご理解いただけましたでしょうか?**



**Q 当社の株式を買い付けされた理由は何でしょうか?(複数回答可)**



**株主通信に対するご意見をご紹介します。**

- 特集「こんなところにもNECフィールディング」は分かりやすかった。意外に事業が広範囲で、世の中の縁の下の力持ちとなっていることを知りました。
- 事業内容を1~2ページで紹介してほしい。
- ソフト部分、ハード部分、セグメントについてなど、簡単に説明してほしい。事業内容の解説を希望される声が多かったため、今回(第53期株主通信)特集にて取り上げております。
- 不況に強い経営とのことだが、同業他社に比べどこが強いのか。当社の基幹事業である「保守サービス」は契約に定めた期間を通じて継続的にサービスを提供する「ストックビジネス」であり、長期間にわたって安定した売上が見込めます。またコンピュータトラブルによる業務の停滞はお客様企業にとって大きな損失であり、不況だからといって保守サービスの契約を打ち切るお客様は多くありません。このような理由から、当社の業績は不況の影響を受けにくいという特徴があります。また他社に比べ、お客様企業の業種に偏りが少ないことも景気に左右されにくい要因です。

**【アンケートへのご協力をお願い申し上げます】**

前回2008年9月末の株主の皆さまを対象に実施したアンケートでは約1,100名の方にご回答いただき、誠にありがとうございました。頂戴したご意見・ご要望を参考に、今後のIR活動の改善につなげてまいります。ぜひ、今回も同封したはがきによるアンケートにご協力いただきますよう、お願い申し上げます。ご協力いただきました方の中から抽選で500名の方に薄謝を送付させていただきます。

**会社概要**

商号	NECフィールディング株式会社	連結売上高	2,111億円(平成21年3月期実績)
本社所在地	東京都港区三田一丁目4番28号	連結従業員数	6,465名(平成21年3月末現在)
資本金	96億7千10万円	連結拠点数	483拠点(平成21年3月末現在)
代表者	代表取締役 執行役員社長 中西 清司	主要取引銀行	三井住友銀行 住友信託銀行

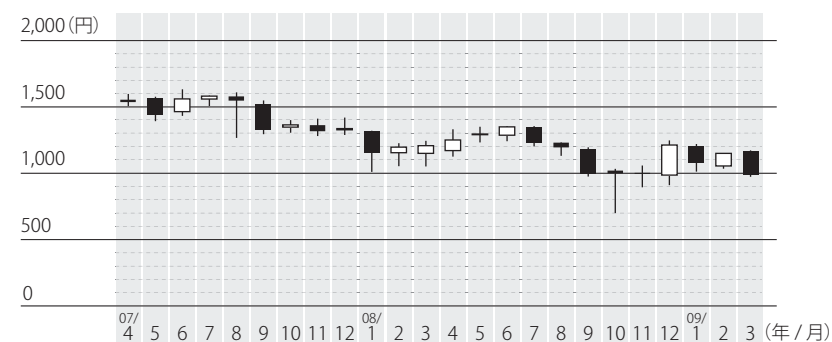
**株式の状況**(平成21年3月末現在)

発行済株式総数	54,540,000株
株主数	9,142名

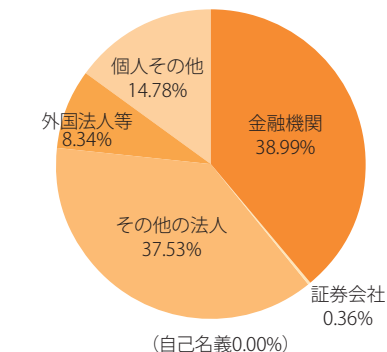
**■主要株主(上位10名)**

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
1 日本電気株式会社	20,300,000	37.22
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(住友信託銀行再信託分・日本電気株式会社退職給付信託口)	16,300,000	29.88
3 NECフィールディング従業員持株会	2,077,700	3.80
4 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,681,800	3.08
5 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,005,200	1.84
6 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	662,900	1.21
7 MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	649,800	1.19
8 全国共済農業協同組合連合会	474,200	0.86
9 ジブラルタ生命保険株式会社(一般勘定株式D口)	217,000	0.39
10 MELLON BANK TREATY CLIENTS OMNIBUS	206,935	0.37

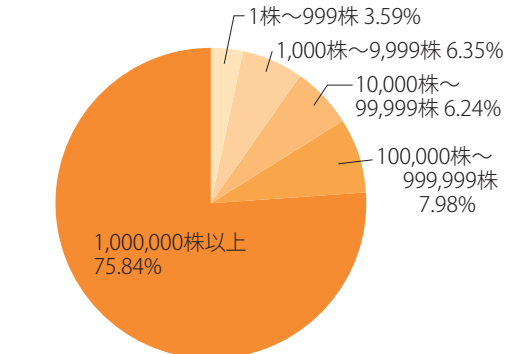
**■株価の推移**



**■所有者別株式分布状況**



**■所有株数別株式分布状況**



## 株主メモ

### ■事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

### ■定時株主総会

毎事業年度の終了後3カ月以内

### ■上場取引所

東京証券取引所(一部)

### ■基準日

●定時株主総会 毎年3月31日

●期末配当金 毎年3月31日

●中間配当金 毎年9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

### ■公告方法

当社のインターネット・ホームページ  
(<http://www.fielding.co.jp>)に掲載します。

### ■ホームページアドレス

下記のURLで、最新のIR情報を確認することができます  
ので、ご利用ください。  
<http://www.fielding.co.jp/ir>

### ■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

### ■株主名簿管理人事務取扱場所

東京都中央区八重洲二丁目3番1号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

### ■郵送物のご送付先

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

### ■電話照会先

☎0120-176-417

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

〈株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について〉

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更、単元未満株式の買い取り、配当金振込み指定のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、上記の電話照会先にご連絡ください。

〈特別口座について〉

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、住友信託銀行株式会社に「特別口座」を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、住友信託銀行(特別口座の口座管理機関)宛にお願いいたします。

NECフィールディング株式会社

コーポレート・コミュニケーション部

〒108-0073 東京都港区三田一丁目4番28号 三田国際ビル

TEL 03-3452-7093 FAX 03-5442-3682

